

役員全員留任決めまる

東京Xが通常総会開き

X、植村光一郎(東京会長)は5月19日午後、東京都八王子の京王プラザホテル八王子で通常総会と記念講演会を開催した。

して14年になるが、商品ではなく文化を販売し、都・生産者・流通業者がともに協力し合って文化を育成していく」

り、また文化を積み重ねていこうとしているが、食べていただくことが生産を可能にする。皆まも生産から流通まで、連携して歴史と文化をねしていくほし」といふぞれ祝辞。

意見を交わすワークショップ形式で進められた

彦振興財团事業課の斎藤彦明課長が「都が開発したものを使つて、次いで飲食店で販売する」と述べた。

化を踏まえ、昨年から会員企業と中食産業のあるべき姿について考えるワークショップなどを実施し、指針づくりに取り組んできた。「総業界に

(社)全国畜肉学校は、6月に開催する「原価計算・数量管理セミナー」の受講生を募集中である。

順に定員になり次第締め切る。
受講料はテキスト代
や消費税込みで2万1
千円。内容は、経営管

務の次の演習が行われる。「枝肉から部分肉への歩留まり」「部分原価計算」「部位別の原価」「精肉原

新会長就任見面で平野
会長は「会員のメリッ
トを吟味し、実利につな
げるメリットを明確に打
出していきたい。また、
年に1度開催する食・...

野トかがりち4博
となつてゐる。
そのほかの主な役員
次のとおり。

A black and white portrait photograph of a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is looking slightly to his left. The background is a plain, light-colored wall.

「61社221店舗が加入している」と植村会長

②日格協が豚枝肉の規格改正を検討しているが、これまでのコストや増体主体から肉質への評価を高めた新しい方向を開いた。東京Xが誕生して以来の肉質主体が、改めて認められた③東京Xも海外でも情報を発信して、海外からの旅行者な

後も務めていく考え方を示した。再選された役員は次のとおり。

市北区のリーガロイヤルホテルで平成23年度通常総会を開いた。そのうえ、任期満了に伴う役員改選では、新会長に平野・鈴木本家さぬきや社長・大庭が選ばれた。本家さぬきやは関西を中心とした全国に96店（FC）など全国に96店（FC）

は補助金をもらわずわれだけの力でやって、8割が中小企業。自の力でここまでやっているのは他に類をみないと思う。これからも発展していくよう今後もう組んでいきたい」とべた。

会員数は正会員211社、賛助会員251社

が「ボーダレス時代のブランド化戦略」と題して、東京Xの理念をやり方、文化などを講演し、①今回指定飼料と主要單味飼料で、NON-GMOというもじりを従来の半分以下にして小麦を加えたことで、肉の獣臭が

ある関口牧場の関口博士が代表が「銘柄牛の彩さい牛」の生産取り組みと今後の方向について報告した。この中で、東京Xとともに健康で、安全・安心の衛生的な畜産物の生産・供給に取り組み、ブランドチーフの確立に会

このあと、22年度実績報告や23年度事業計画を承認した。また、役員選任では植村会長ら全役員の再任を決めた。

どにも大いに食べていていた
だき、Xの文化に触れて
いたぐ取り組みも考え
たい——などと述べた。
このあと、埼玉県優勝

氏選出 開催

新会長に平野氏選出 ORAが通常総会開催

外食産業協会(社) 大阪

